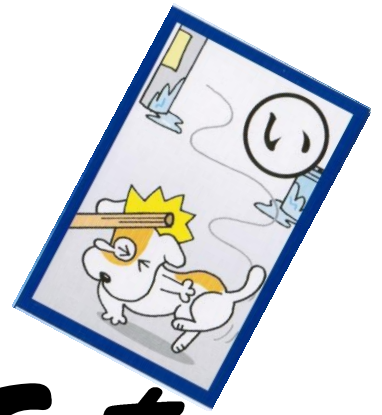


NPO法人 地球ことば村・ことわざ学会 共催



第6回(2019年)

# いろはかるたを 楽しむかい(会)?

5月26日(日) 13時半~15時半



イザベラ・バード(1831-1904)

とのが や と て い えん こうようてい  
殿ヶ谷戸庭園 「紅葉亭」

お話：西洋人の見た「いろはかるた」

(在野ことわざ研究者 北村孝一)

実演：「いろはかるた」で遊ぶ(参加者全員)

参加費：300円(含茶菓代。小学生以下無料。庭園入場料は各自負担)

英国の初代駐日総領事オールコックは、天真爛漫に遊ぶ日本の子どもたちを見て、日本は子どもの天国だと言いました。今回のお話は、お雇い外国人グリフィスや女性旅行作家イザベラ・バードの記録を手がかりに、明治初期の〈いろはかるた〉の遊びの実態をさぐってみます。お話の後は、お子さんたちと一緒に江戸の犬棒かるたで遊んで、紅白戦などを楽しみましょう。(どなたでも参加できます。外国の方や学生さんも大歓迎、お子さんもぜひ!)

武蔵野の地形を生かした回遊式林泉庭園も楽しめます。庭園入口はJR中央線国分寺駅南口から徒歩3分です。

★準備の都合上、事前に申込が必要です(定員25名)。5月10日までに下記へメールでお申し込みください。

地球ことば村 [info@chikyukotobamura.org](mailto:info@chikyukotobamura.org) ことわざ学会 [kotowazagakakai@gmail.com](mailto:kotowazagakakai@gmail.com)

## 殿ヶ谷戸(とのがやと)庭園のご案内

武蔵野の自然地形―一段丘の崖にできた谷を巧みに利用した回遊式庭園です。崖の上の明るい芝生地と崖下の湧水池、樹林で雰囲気が一変し、楽しく散策できます。大正初期に江口定條の別荘として整備され、昭和4年には岩崎家の別邸となりました。昭和40年代の開発計画に対し庭園を守る住民運動が行われ、昭和49年に都が買収し都立庭園として公開され、国指定の文化財(名勝)となっています。開園時間は午前9時から午後5時までです。(ゴールデンウィーク期間中は午後6時まで)

入園料 一般 150円・65歳以上70円(小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料)

### アクセス

JR中央線、西武国分寺線・西武多摩湖線「国分寺」下車、南口を出て左へ(小金井方向)徒歩2分(駐車場はありません)

